

BRG 392 使用方法 (一般仕様)

1. 準備する物



攪拌機

一回当たりの攪拌量が 1.5kg 以内であればインパクトに接続するタイプの攪拌羽根をご使用ください。羽根の形状は左のようにカップを傷つけにくい形状をおすすめします。傷つけにくい物を使用することで羽根とカップの内側を近づけて攪拌できるため、攪拌の効率が上がります。



カップ

200CC ~ 2L 程度の物を数個準備してください。PP や PE の容器ですと残った樹脂が固まった後、簡単に剥がして再利用できます。樹脂の攪拌用と攪拌羽根や刷毛を洗うためのカップが必要です。また、洗い用は粗い洗浄用とすすぎ用の二つのカップを準備することを推奨します。(刷毛を長持ちさせるため)



刷毛

豚毛で、毛の少ない物がおすすめです。塗りやすく、洗いやすく、繰り返し使用が可能です。毛の多い物ですと刷毛内部に残り、可使時間を短くしてしまったり、刷毛が直ぐに使用できなくなってしまいます。毛の少ない物があれば、吸い込みのないナイロン刷毛も良好です。



はさみ・カッター等

貼込みのクロスをカットする際に、良く切れる はさみが必要です。カッターは 1 層毎に型から はみ出したクロスと樹脂をカットするのに使用します。バリ取りにはセラミック製カンナがおすすめです。削りやすく、少しのクロスなら、一緒に削ってしまいます。

BRG 使用方法

材料混合について



	BRG392 パウダー	BRG392 ゲルベース	BRG392 積層ベース
外 観	白色粉体	白色液体	白色液体
重量配合比	5	2	-
	5	-	2
可使時間 23°C	-	約 15 分	約 25 分
備 考	共通混和剤	一層目の表面層用 接合部の接着用	B705貼付け用 接合部の接着用

攪拌機を使用してしっかりと攪拌混合してください。

脱型目安 40 ~ 1 時間 30 分

BRG392 使用方法
(一般仕様)

BRG392 ゲルベース塗布



BRG392 ゲルベースとパウダーを重量配合通り混合して使用します。
垂れず、弾かず、延ばしやすい粘度になっています。

刷毛で塗り残しのないように塗布します。

FRP 型、シリコン型どちらでも大丈夫です。

※シリコン型の場合、塗膜が薄すぎたり風が当たり乾燥が早くなりすぎるとクラックが発生することがありますのでご注意ください。

貼込み

下塗り



BRG392 積層ベースとパウダーを混合し、B クロスを貼込む所の下塗りをします。

この時、ゲルベースのように一度に全体に塗布せず、貼込む分だけ少しずつ塗布してください。

ゲルベースは乾いている方がやりやすいですが、乾いていなくても大丈夫です。

B クロス貼込み



B クロスは幅 20cm ぐらいまでの帯状にカットしたものを準備すると貼込みが容易になります。(一度に大きな面積を張込むより綺麗に手早く作業が可能となります。)

凹凸の激しい型の場合、B クロスを小さくしたり、端から順番に貼込みをすると綺麗に張込めます。

※空隙が出来ないように注意してください。

※シリコン型の場合、型が柔らかいので、強い力で貼込むとゲルベースが割れることがあるので注意してください。

増し塗り



型からはみ出した B クロスにも塗り上げておくことで、下のはみ出している B クロスのカットがしやすくなります。

はみ出た B クロスをカット



型からはみ出している B クロスをカットしておきます。

一枚貼込む毎にカットしてください。2 枚、3 枚と貼込んだ後でまとめてカットしようとすると、強度が出すぎて切れなくなります。

2 枚貼ればかなりの強さに仕上がります。

BRG 使用方法 (一般仕様)

型貼合わせ接着樹脂塗布



型の貼り合わせにはゲルベースもしくは積層ベースとパウダーを混合した物を使用してください。バサルトチョップを適量混ぜますと増粘して盛りやすくなります。

型の縁と貼込んだ部分に隙間が出来ないように塗っていきます。合わせ型の両方に塗布します。

接合部補強 -1



接合部の補強としてBクロスを貼込みます。

型を合わせた後に貼込みがやりにくい部分は予め片方だけ貼込んでおくと作業が容易になります。

この作業を行う場合は、これの後に接着樹脂塗布を行ってください。

型 接合



接着樹脂が乾かないうちに型を合わせてください。

接合部補強 -2



接合部にBクロスを貼込んでいきます。

接合部補強 -1 で片方だけ貼込んだ部分も忘れずにもう半分を貼込んでください。

BRG 使用方法
(一般仕様)

脱型



型の形状が壺型など中の水分が抜けやすい物は型の貼り合わせ、接合部の補強を終え、40分～1時間程で脱型できます。完全に蓋をしてしまうような型の場合は長めに養生してください。

バリ取り



綺麗にバリの処理をしてください。
バリ処理にセラミック製のカンナを使用すると安全で綺麗な処理ができます。
サンドペーパーでも容易に磨くことが可能です。